



栃木第五小学校

栃五小学校だより

「ありがとう」

～ありがとうと言える人 ありがとうと言われる人になろう～
(本校キャッチフレーズ)

令和7年9月号

発行日 令和7年9月19日

文責 木村 信孝(校長)

まだまだ暑いですが…

元気に2学期がスタートしました！



長い夏休みが終わり、9月1日(月)の始業式より2学期がいよいよ始まりました。始業式は1学期の終業式と同様に校長室から各クラスのテレビに配信することで行いましたが、終業式において児童代表作文を発表した1年 さん：3年 さん：5年 さんに続き、今回は2年 さん：4年 さん：6年 さんが堂々と作文を発表してくれました。また校長からのあいさつでは…夏休みの思い出として、旅行で訪れた愛媛県での「動物園のライオン」や「蛇口からみかんジュース」のエピソードを紹介し、‘夏の思い出を元気の素にして、2学期もがんばって過ごしましょう！’と話しました。

さて、この2学期は(例年ならば)天気のうえでも過ごしやすくなり、年間で1番活動しやすい時期であると言われています。学習や運動、読書等に取り組みやすく、運動会や持久走大会、各学年の校外学習…と様々な行事が計画されています。それら行事の1つ1つが、子どもたちにとって大切な思い出になりますよう学校全体で元気を出してがんばっていきたいと思います。

今学期もどうぞよろしくお願いいたします。



お知らせ

◎担任の交代について

現在、2年1組担任の 先生 につきましては、本年度後期(10月1日～3月31日)の間、宇都宮大学にて内地留学を行います。そこで、不在中の学級担任を現在本校に勤務している 先生 に任せることにしました。

先生は、4月から本校で勤務しており、主に算数の授業を中心に児童の学力向上に努めています。また昼休みは、毎日校庭で多くの子どもたちと元気よく遊んでいる若さ溢れる先生です。新たな担任として大いに期待できます。

また、職員1名が減る補充として、小山第三小学校から 先生 が本校に着任されます。先生は昨年度1年間、栃木第四小学校で勤務された、やはり若さ溢れる先生で、ピアノの演奏がとても上手です。

先生の宇都宮大学での学びの充実や、先生、先生の本校での活躍を心より願っています。

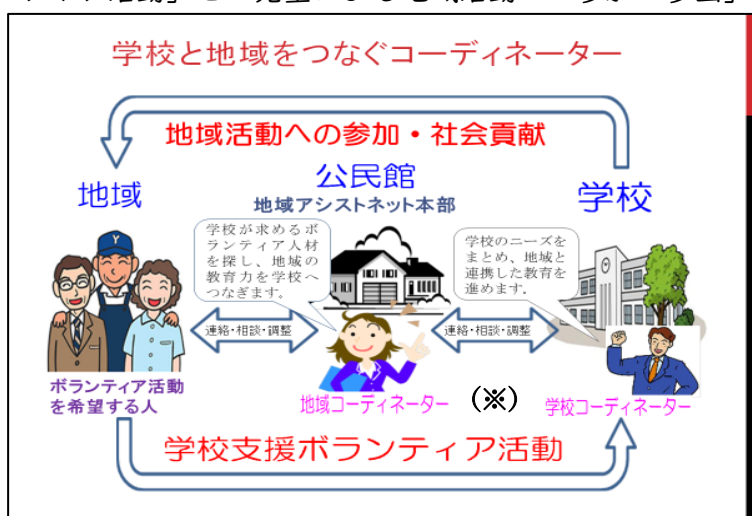
とちぎ未来アシストネットの更なる充実を目指して

8月5日（火）には、夏季休業中の職員研修として校長が講師を務め、「とちぎ未来アシストネット」についての学習会を開きました。



「とちぎ未来アシストネット」とは、平成24年度からスタートした学校・家庭・地域の連携・協力を組織的に発展させ、より効果的に「学校支援（教育の充実）」や「地域の絆づくり」等を図る教育システムのことです。導入から今年で14年目になりますが、教育委員会での最初の担当者が私（校長）になります。

このシステムの大きな柱は、図にあるような‘コーディネーター’といわれる立場の人の連携（連絡や相談）とそれにより実践される「保護者や地域住民による学校支援ボランティア活動」と「児童による地域活動への参加・参画」となります。



※ 本校では、学校運営協議会会長である後藤聡子さんに地域コーディネーターを務めていただいています

今回の職員研修では、‘学校で支援ボランティアの方々に活躍していただくことは、教育の充実を進めることだけにとどまらず、保護者と地域住民との相互交流や子どもたちの地域への意識向上にもつながり‘
「地域の活性化」への効果も期待できる。’という話を強調しました。

また、それが「地域とともにある学校」のよりよい在り方であることも職員で共通認識しました。

ひろがるボランティアの輪

今年度も本校においては、すでに「読み聞かせ」や「ミシン」、おつき会による「花いっぱい運動」等、多くのボランティアさんが学校支援活動に参加していただいています。

地域ぐるみで子どもたちを育てることは、学校を核とした地域の絆づくりにつながります

保護者の皆様及び地域住民の方々、どうぞ学校にいらしていただき、子どもたちのため、地域のためにご活躍していただけるようお願いいたします。

